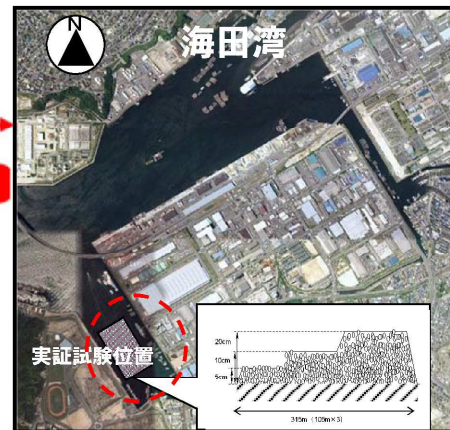


主要事例②: 石炭灰造粒物を活用した海域環境改善技術(広島県 海田湾)

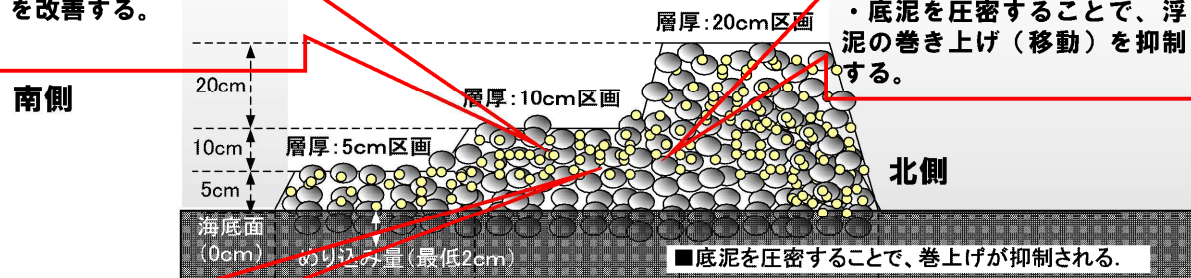
広島湾奥部に位置する海田湾において、海域環境を改善するために石炭灰造粒物を用いて、平成22年度に実証試験を実施。現地実証試験後(平成22年度以降)は、モニタリング調査や水質シミュレーションモデルによる海域環境改善効果の検証を行い、平成24年度に、実用化に向けての手引書のとりまとめを行った。



■当初期待した効果、目標とする海域環境

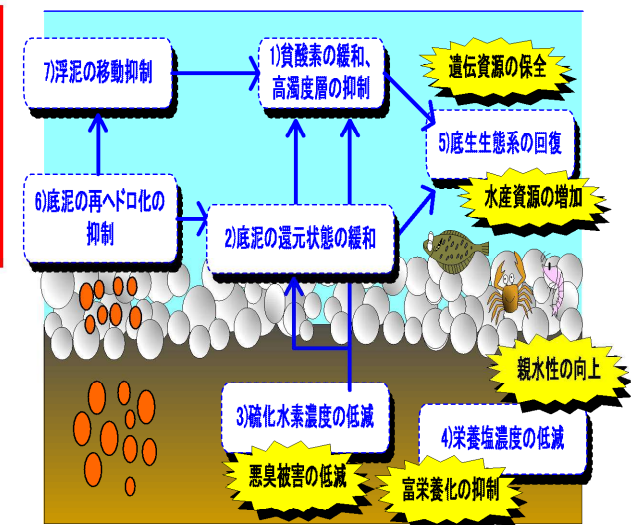
①水・底質の改善効果
 ・石炭灰造粒物による被覆によって、水質・底質環境(DO、ORP等)を改善する。

■層厚は段階的に変化させ、石炭灰造粒物層の有機泥捕捉可能期間と最適施工厚を特定する。



②底生生物への効果
 ・水質、底質の改善効果により、底生生物等の生産を促進させる。

③被覆層への有機物の捕捉・分解、浮泥の移動抑制効果
 ・被覆層へ有機物を捕捉し、分解することで底泥のヘドロ化を抑制する。
 ・底泥を圧密することで、浮泥の巻き上げ(移動)を抑制する。



海域環境改善効果の概念図